

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 5月 10日

事業所名 オールケア豊中

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90%	0%	毎日の利用児に合わせて物の配置を変えている	環境整備を心がけ過ごしやすい動線の確保に努めます
	2	職員の配置数は適切である	0%	0%	他部署と連携を取り応援体制をとっている	運営に必要な配置をしているが、よりよい支援のために増員、育成を進めています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%		段差はなく手すりも設置されている	引き続き動きやすい施設を維持していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	33%	17%	キャリアパスを活用して振り返りしている	全員が意識をして取り組めるように周知します
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	66%	17%	日々の聞き取りから改善につなげている	前年度のアンケートから改善点を共有しています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	34%	49%	全員でホームページの確認を行う	ホームページに公開していることの周知を再度おこないます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	49%	自社の他部局にて内部監査を行っている	第三者における外部評価は行っていないが、内部監査で改善に努めます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	内部外部研修への参加を促している	受けたい研修を自ら探して、より知識を深めていけるように、社内環境を整えていきます
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%	日々の聞き取りからも改善につなげていくようにしている	職員間での共有をより深め、ニーズを形にしています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	66%	17%	聞き取ったことの記録を活用して話をしている	どのようなツールが最適なのか話し合いも行い反映させます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	0%	会議で活動案をあげ実行している。	会議の場だけでなく、職員間の共有を増やします
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	49%	0%	季節や利用児年齢に合わせて考えている	興味のある事を引き出し、新しい試みも提案していきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	49%	0%	滞在時間の違いを配慮して設定しています	休日、長期休暇にしかできないことを楽しんでもらうように設定強化をしていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	66%	0%	個々の特性を理解して支援している	職員間での共有の理解と動きの相談をして計画に反映します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	0%	議事録での共有も含めて確認している	全員が揃った時点で、途中ででも確認を行います
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	0%	全員が揃ってではないが、議事録を通しての共有をしている	短時間でも情報共有時間を作り、議事録での理解も徹底します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		これからも丁寧な記録を心がけます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	83%	0%	定期的、日々の聞き取りを活用している	職員誰もがしっかりと聞き取りをできる力をつけていきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	34%	17%	できる限り意識して行うようにしている	バランスを考えて実行していきます

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	66%	0%	利用児を理解した責任者が参加している	職員誰もが責任を持って参加できるように育成していきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	83%	0%	送迎時や見学会などで積極的話している	学校のホームページや保護者からの情報を得て、年間予定や変更の確認も引き続きおこないます
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	83%	0%	主治医指示書や保護者からの情報を得た上で整えている	連携が難しいことも多いが、確認事項は時間がかかっても継続していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	17%	17%		就学前から利用していた児童発達支援センターとの共有はおこなうことがあり、継続します
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	0%	必要に応じて情報共有している	重心多機能型で卒業後も利用継続者が多いです
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	34%	49%	主にリハビリ訓練の連携が多い	訓練施設ではないが、日々の生活の中で取り入れられることがないか考えています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%		コロナ禍で進められていなかったため、機会を作るように検討しています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	34%		どのような協議会への参加が適しているのかも考えて事業所の動きに組みこんでいきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡ノート、ラインを使い共有している	これからもこまめに連絡を取り合う事を意識していきます
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	66%		研修などに参加し、より理解した支援ができるようにしていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	0%	契約時や更新時期には丁寧に説明している	職員にもしっかりと共有します
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	0%	支援が必要と感じた時にはすぐにお声掛けをしている	これからも先にお声掛けができるように、全職員がその気持ちでいるようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	66%		開所後よりコロナ禍で開催もできておらず、今年度計画していきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	すぐに共有し、何が問題で、必要な改善策は何か話している	これからも保護者からのお話を真摯に受け止め、すぐに改善につなげていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	66%	17%	機関紙やInstagramなどを利用して発信している	たくさんのお話を伝えるようにこれからも気を付けて発信していきます
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	配慮している	今後も配慮の方法にも留意します
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		必要な事がないのか意識していきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	0%		まだ実現していないが計画を進めています

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	34%	17%		策定したものを周知しきれていないのでその方法を検討します
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	66%	0%	毎月訓練行っている	災害設定を変えて必要なことを行っていきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎年研修参加して、全員に周知している	職員が順次、社外研修にいけるようにしています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%	計画に反映できるようにしている	職員が理解して意識を高めていけるように研修しています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	指示書に記入されている事に対応している	保護者からの情報を何度でも確認、更新していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	34%	0%	その都度記録に残している	全体共有に努めます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024 年 5月 10 日

事業所名 オールケア豊中 木もれび 保護者等数(児童数) 11名 回収数 11名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11					整理整頓を意識し環境整備に取り組みます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2				基準は満たしているが充実した支援となるようにしていきます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11					手すりがあり、段差のないバリアフリーな環境です
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	11					ニーズの把握をしてより良い過ごし方の提案をしていきます
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	10	1				慣れ親しむ事と新しい事を上手く組み合わせていきます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	5	1		しているかどうか見ることがない	少しづつ地域との関係も繋がってきているので、新たな機会を探ります
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					契約時、更新時期に説明しています
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					連絡ノートや送迎時にしっかり伝えていきます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1				デイの様子を伝えながら、ニーズを聞き相談できる環境を作ります
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	2			どのような形での開催が良いか検討して発信して参ります
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11					クレーム、相談には迅速な対応をします
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					連絡ノート、ラインなども駆使し、伝わり方を考えています
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11					機関紙を中心に、インスタグラム、ホームページなどを使い発信しています
14 個人情報に十分注意しているか	11					個人情報の取り扱いにはその都度配慮注意をしています	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	2				契約時には説明はしていますが発信する場面や機会を作るようにしていきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	2				月に一度の避難訓練を行っています。どのようなことをしているのかの発信もおこなってまいります
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11				入浴バッグを見て楽しみにしている	楽しい事がある所となるように充実させます
	18 事業所の支援に満足しているか	11					より安心した支援となるように努めます

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。